

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		視覚病態生理学特論Ⅱ				桐生 純一	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
<p>(1) 網膜硝子体の解剖・生理を理解して、光干渉断層計、蛍光眼底造影検査（フルオレセインおよびインドシアニングリーン）といった画像診断検査を遂行できる能力を修得する。</p> <p>(2) 画像診断装置を用いた網膜硝子体疾患の所見を理解して、適切な治療方法を遂行できる能力を修得する。</p>							
授業到達目標							
<p>(1) 網膜硝子体疾患の患者に対して光干渉断層計を実施する。</p> <p>(2) 光干渉断層計で得られた画像所見を具体的に説明できる。</p> <p>(3) 網膜硝子体疾患の患者に対して蛍光眼底造影検査を実施する。</p> <p>(4) 眼底造影検査で得られた画像所見を具体的に説明できる。</p>							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	水	17:00-18:00	桐生 純一	講義	[症例検討会]	手術検討会：その週に予定手術に関して、手術適応、手術方法について検討する。 [場所:本館棟4階眼科外来検査室 4662]
2	毎週	水	18:00-19:00	桐生 純一	講義	[症例検討会]	画像診断検討会：前週に行われた画像検査（前眼部写真、眼底写真、眼底造影検査）に関して、読影方法と鑑別診断について検討する。 [場所:本館棟4階眼科外来検査室 4662]
評価方法							
<p>(1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。</p> <p>(2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものは異なる論文（症例）であること。</p> <p>※2月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁：単位履修方法参照。</p>							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
症例検討の要約について、添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9784260024112, 標準眼科学, 中澤満, 村上晶編集；澤口昭一 [ほか] 執筆, 医学書院, 2016							
参考書							
ISBN-9784260019408, 黄斑疾患診療 AtoZ, 岸草治, 吉村長久編, 医学書院, 2014							
準備学習（予習・復習等）							
担当した症例の疾患に関する文献および論文を読む。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
医学・医療分野を牽引し、指導的役割を果たすことができる。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。							